

## 対象範囲について（案）

## 1. 対象範囲について

今回対象とするショーケースは、エネルギー消費効率の測定方法が確立されているショーケースとして、内蔵ショーケースのうち、JIS B 8631-2（冷凍・冷蔵ショーケース－第2部：分類、構造、特性及び試験条件）：2011（以下「JIS B 8631-2」という。）に規定する「内蔵クロズドタイプショーケース」及び「内蔵オープンタイプショーケース」とする。（134千台）

なお、別置型ショーケース及び内蔵ショーケースのうちJIS B 8631-2規定されていないショーケースについては、エネルギー消費効率の測定方法が確立していないため対象範囲から除外する。

また、JIS B 8631-2に規定するショーケース（149千台）のうち、エネルギー消費効率の測定方法が確立していないもの及び市場での使用割合が極度に小さいもの（15千台）についても対象範囲から除外する。

2012年度におけるショーケース全体（298千台）に対して、今回対象となる製品（134千台）の占める割合は45%程度となる。出力ベースでは、およそ4割程度を占めるものと見込まれる。（対象範囲に係る考え方の詳細については、3. 参照）

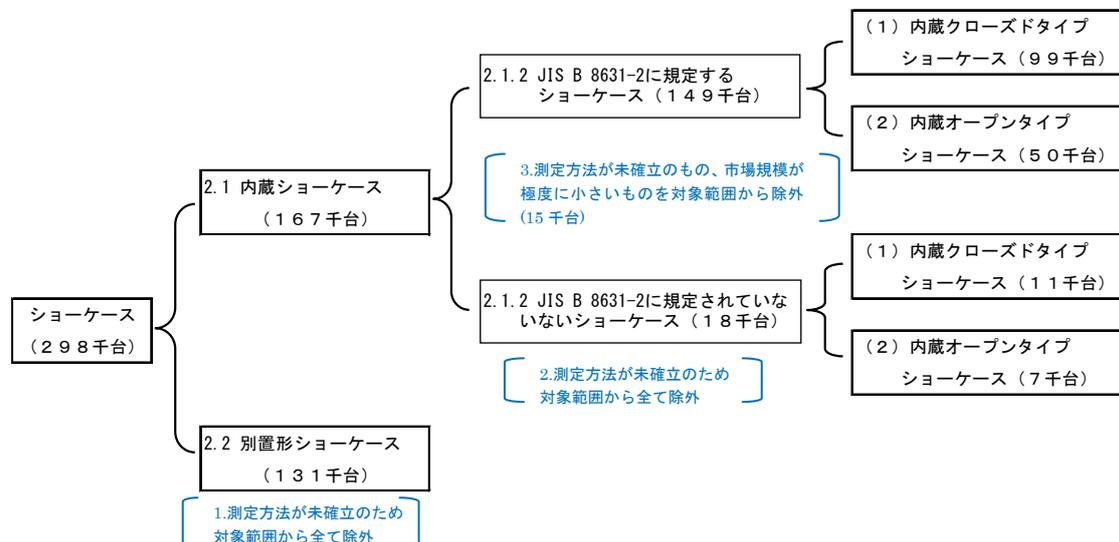


図1. 製品区分一覧

（カッコ内は2012年度の出荷台数）

## 2. ショーケースの種類について

別置型ショーケースを除き、JIS B 8631-2に規定する内蔵形ショーケース

の種類については、表1及び表2のとおり。

表1. 内蔵クロードショーケースに関する形状（製品）別  
平均陳列室内温度・冷却方式・冷凍機の位置・扉の形態

J I S B 8 6 3 1 - 2 に示された分類			J I S B 8 6 3 1 - 2 に示されていない分類	
形状（製品の種類）	陳列室内温度帯 （平均陳列室内温度）	冷却方式	冷凍機の位置	扉の形態
箱形ショーケース	冷蔵 （8. 0℃）	冷気自然対流形	/	/
卓上形 ショーケース		冷気強制循環形		
三面ガラス式 ショーケース		冷気強制循環形		
四面（五面）ガラス式 ショーケース				
リーチイン ショーケース	冷凍 （-18. 0℃）	冷気強制循環形	冷凍機上置き	スイング スライド
リーチイン ショーケース			冷凍機下置き	スイング スライド
ガラストップ式 ショーケース		冷気強制循環形	冷凍機上置き	/
		冷気自然対流形	冷凍機下置き	
		冷気強制循環形		



図2. 箱形  
ショーケース



図3. 卓上形  
ショーケース



図4. リーチインショーケース  
（冷蔵・冷凍）（冷凍機上置き）



図5. リーチインショーケー  
（冷蔵・冷凍）（冷凍機下置き）



図6. 三面ガラス式  
ショーケース



図7. 四面（五面）ガラス式  
ショーケース



図8. ガラストップ式  
ショーケース

表2. 内蔵オープンショーケースに関する形状（製品）別  
平均陳列室内温度・冷却方式・奥行き・陳列室位置

J I S B 8 6 3 1 - 2 に示された分類			J I S B 8 6 3 1 - 2 に示されていない分類	
形状（製品の種類）	陳列室内温度帯 （平均陳列室内温度）	冷却方式	奥行き	陳列室位置
多段形オープン ショーケース （天井吹出形）	冷蔵中温 （8. 0℃）	冷気 強制対流形	厚形	/
	冷蔵高温 （15. 0℃）		薄形	
多段形オープン ショーケース （背面吹出形）	冷蔵中温 （8. 0℃）		厚形	
	冷蔵高温 （15. 0℃）		薄形	
平形ショーケース	冷蔵低温 （4. 0℃）		片面	
	冷蔵中温 （8. 0℃）		両面	
	冷蔵高温 （15. 0℃）		片面	
	冷凍低温 （-18. 0℃）		両面	
	冷凍中温 （-15. 0℃）		片面	
	冷凍中温 （-15. 0℃）		両面	
平形ショーケース （冷蔵と冷凍切替え式）	冷凍低温 （-18. 0℃）		片面	
	冷凍中温 （-15. 0℃）		両面	
平形ショーケース	冷蔵中温 （8. 0℃）	片面		
	冷蔵高温 （15. 0℃）	両面		
	冷凍中温 （-15. 0℃）	片面		
		冷気 自然対流形	両面	



図 9. 多段形オープンショーケース  
(天井吹出形) (厚形)



図 10. 多段形オープンショーケース  
(天井吹出形) (薄形)



図 11. 多段形オープン  
ショーケース (背面吹出形)



図 12. 平形ショーケース  
(片面)



図 13. 平形ショーケース  
(両面)

### 3. 対象範囲の考え方について

ショーケースのうち、以下のものについて対象範囲から除外する。

なお、対象範囲の考え方として、原則1に基づき、以下に該当するものについては、対象範囲から除外することとしている。

- ①特殊な用途に使用されるもの
- ②技術的な測定方法、評価方法が確立していないもの
- ③市場での使用割合が極度に小さいもの

#### (1) 技術的な測定方法、評価方法が確立していないもの

##### ①別置型ショーケース (図 14)

屋外に設置した冷凍機と、店内のショーケースを配管で接続するもので、排熱が店舗内に排出されず、ショーケースの連結が可能である。一方で、冷媒や排水のための配管工事が必要で、ショーケースのレイアウト変更が簡単に出来ないといった特徴がある。評価方法が確立しておらず対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計 (2012年度) : 約131千台 (43.9%)

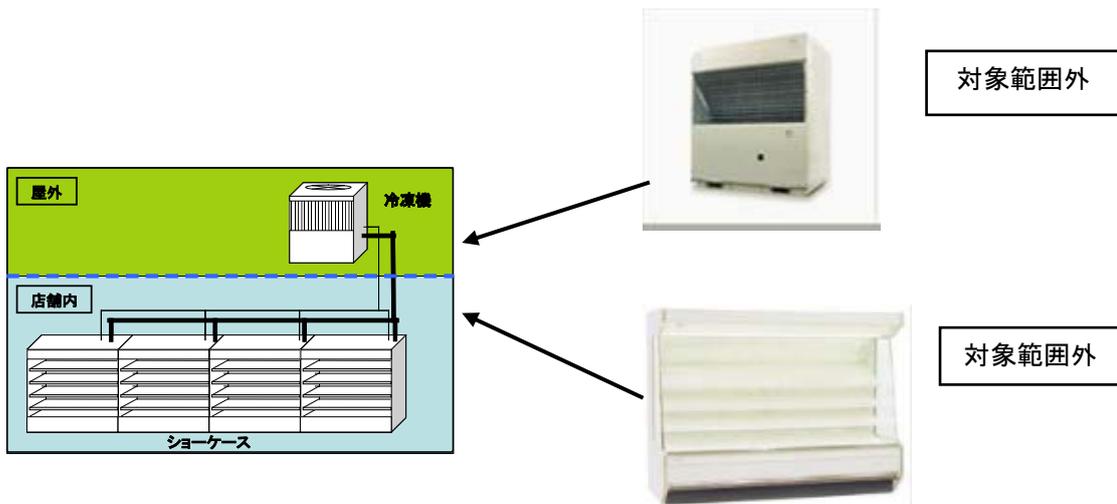


図14. 別置形ショーケースのシステム

②内蔵型ショーケースのうち、JIS B 8631-2に規定する以外のもの  
 評価方法が確立していないため対象範囲から除外する。  
 ※出荷台数の推計（2012年度）：約18千台（6.0%）

(ア) 対面販売形ショーケース（図15）

店員が新鮮な切身食品又は包装食品を顧客に提供するために用いるショーケース。主に対面販売に使用されるため、前面に透光性の材料（ガラス、樹脂など）を用い、背面の販売者側だけに扉がある。



図15. 対面販売形ショーケース

(イ) 箱形／リーチインショーケース（バック扉付き）（図16）

駅の売店などで主に使用されている、前面だけではなく背面の販売者側にも扉を有するショーケース。



図16. 箱形／リーチインショーケース  
 （バック扉付き）

(ウ) スポット形ショーケース (図17)

主に催事用として設計された移動が容易な自然対流式ショーケース。

対象範囲外



図17. スポット形ショーケース

(エ) 冷水ショーケース (図18)

水を媒体として、飲料等を冷却するショーケース。

対象範囲外



図18. 冷水ショーケース

(オ) デュアルケース (図19)

オープン又はガラスドアの下部構造と、ガラスドアの上部構造とで構成されたショーケース。

対象範囲外



図19. デュアルケース

(カ) ジョッキクーラー (図20)

ビール用のジョッキを冷却するのに用いるショーケース。

対象範囲外



図20. ジョッキクーラー

(キ) ディッピング形ショーケース (図21)

アイスクリーム等を個別小分け販売するショーケース

対象範囲外



図21. ディッピング形ショーケース

(ク) 卓上ショーケース（冷気自然対流形）（図 2 2）

JIS B 8631-2のJA. 3. 1. 1. 1. 2に規定する卓上ショーケースで、陳列された食品の冷風による乾燥を防ぐため、高湿度を保つべく設計したショーケース。

対象範囲外



図 2 2. 卓上ショーケース  
（冷気自然対流形）

(ケ) ラウンド形ショーケース（図 2 3）

開口面が二面以上つながった構造をもち、前後や側面等の3方向から商品の取り出しを可能としたショーケース。

対象範囲外



図 2 3. ラウンド形ショーケース

(コ) 生花用ケース（図 2 4）

生花を入れる水の入った容器を備えたショーケース。

対象範囲外



図 2 4. 生花用ケース

（以下、内蔵型ショーケースのうち、JIS B 8631-2 に規定するもの）

③箱形ショーケース（冷気自然対流形）（図 2 5）

陳列された食品の冷風による乾燥を防ぐため、高湿度を保つべく設計したもので、扉の開閉などによる庫内温度変化に対する復帰が非常に遅いことから、評価方法が確立しておらず対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約2.1千台（1.3%）

対象範囲外



図 2 5. 箱形ショーケース  
（冷気自然対流形）

（外観では、対象品との区別はつかない）

④多段形オープンショーケース（背面吹出形）（図26）

吹出口が背面側に後退し、実際の使用時に、この吹出口の外側（前面側）と吸込口の外側（前面側）を結んだ線から棚板がこの線より前に出るため、十分なエアカーテンを形成することが出来ないことから、評価方法が確立しておらず対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約9.0千台（5.4%）



(2) 市場での使用割合が極度に小さいもの

①リーチインショーケース（冷凍機上置き）（冷蔵）（図27）

主として冷蔵食品や飲料などの保冷に使用されるものであり、出荷台数が少量であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約1.0千台（0.6%）

②リーチインショーケース（冷凍機上置き）（冷凍）（図27）

主として冷凍食品やアイスクリームなどの冷凍保冷に使用されるものであり、出荷台数が少量であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0.2千台（0.1%）



③多段形オープンショーケース（天井吹出形）（厚形）（図28）

製品の外形奥行きが800mm以上あるため、設置場所や用途が限られており、出荷台数が少量であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約1.0千台（0.6%）

対象範囲外



図28. 多段形オープンショーケース  
（天井吹出形）（厚形）  
（製品最大奥行きが天井部）

対象



（参考）多段形オープンショーケース  
（天井吹出形）（薄形）  
製品最大奥行きが天井部以外  
（天井部と他の部分が同じ場合もある）

④平形ショーケース（両面）（冷蔵）（図29）

陳列室が手前と奥側に独立しており、製品の奥行きが1200mm以上あるため、設置場所や用途が限られており、出荷台数が少量であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0.3千台（0.2%）

⑤平形ショーケース（両面）（冷凍）（冷蔵と冷凍切替え式を含む）（図29）

陳列室が手前と奥側に独立しており、製品の奥行きが1200mm以上あるため、設置場所や用途が限られており、出荷台数が少量であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0.5千台（0.3%）

対象範囲外



図29. 平形ショーケース  
（両面）（冷蔵、冷凍）

対象



（参考）平形ショーケース  
（片面）（冷蔵、冷凍）

⑥平形ショーケース（冷蔵高温）

主として弁当や惣菜類の陳列用に使用されるものであり、2012年度の出荷台数が0台であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0台（0%）

⑦平形ショーケース（冷気自然対流形）

陳列室の側面を冷却することにより、陳列された食品類を冷却するものであり、2012年度の出荷台数が0台であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0台（0%）

⑧三面ガラス式ショーケース（図30）

主として冷蔵食品や飲料などの保冷に使用されるものであり、2012年度の出荷台数が0台であることから対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約0台（0%）



図30. 三面ガラス式ショーケース  
（背面が断熱されている）

（参考）四面（五面）ガラス式  
ショーケース

⑨特注品

カタログに記載されている標準仕様の製品に対し、顧客により製品仕様の一部変更（本体寸法、送風機の数・出力、ヒーター容量・設置位置、圧縮機出力、筐体の材質、照明の数・設置位置・出力）が決められた製品であって、年間出荷台数が10台未満のものを対象範囲から除外する。

※出荷台数の推計（2012年度）：約1.1千台（0.7%）

（他の機器に比べ出荷台数は多いが、機種数は200機種以上あるため、1機種当たりの台数は少ない。）

表3. JIS B8631-2に規定されている内蔵型ショーケースの対象範囲と除外理由  
(クローズドタイプショーケース)

対象範囲					除外理由		
形状 (製品の種類)	陳列室内温度帯 (平均陳列室内温度)	冷却方式	冷凍機 の位置	扉の形態	3.		
箱形 ショーケース	冷蔵 (8. 0℃)	冷気 自然対流形	/	/	(1)③		
—							
卓上形 ショーケース		冷気 強制循環形			/	/	—
三面ガラス式 ショーケース							(2)⑧
四面(五面) ガラス式 ショーケース							—
リーチイン ショーケース					(2)①		
						冷凍機 上置き	スイング
					冷凍機 下置き	スイング	—
						スライド	—
リーチイン ショーケース	冷凍 (-18. 0℃)	冷気 強制循環形	冷凍機 上置き	/	(2)②		
冷凍機 下置き			—				
ガラストップ式 ショーケース			冷気 自然対流形		/	/	—
	冷気 強制循環形		—				

表 4. JIS B8631-2に規定されている内蔵型ショーケースの対象範囲と除外理由  
(オープンタイプショーケース)

対象範囲					除外理由					
形状 (製品の種類)	陳列室内温度帯 (平均陳列室内温度)	冷却方式	奥行	陳列室位置	3.					
多段形オープン ショーケース (天井吹出形)	冷蔵中温 (8.0℃)	冷気 強制対流形	厚形	/	(2)③					
	冷蔵高温 (15.0℃)		薄形		—					
			厚形		(2)③					
	薄形		—							
多段形オープン ショーケース (背面吹出形)	冷蔵中温 (8.0℃)		冷気 強制対流形		/	/	(1)④			
	冷蔵高温 (15.0℃)									
平形 ショーケース	冷蔵低温 (4.0℃)						冷気 強制対流形	/	片面	—
	冷蔵中温 (8.0℃)								両面	(2)④
									片面	—
	両面								(2)④	
	冷蔵高温 (15.0℃)								片面	(2)⑥
									両面	
	冷凍低温 (-18.0℃)	片面		—						
	両面	(2)⑤								
冷凍中温 (-15.0℃)	片面	—								
	両面	(2)⑤								
平形 ショーケース (冷蔵と冷凍切替え式)	冷凍低温 (-18.0℃)	冷気 強制対流形	/	片面	—					
				両面	(2)⑤					
	冷凍中温 (-15.0℃)			片面	—					
				両面	(2)⑤					
平形 ショーケース	冷蔵中温 (8.0℃)			冷気 自然対流形	/	片面	(2)⑦			
	冷蔵高温 (15.0℃)					両面				
						片面				
	冷凍中温 (-15.0℃)					両面				
						片面				

表5. 表3と表4を踏まえ今回対象範囲とするJIS B8631-2に規定されている  
内蔵型ショーケースの種類

外気の遮断	形状	温度帯		冷却方式	扉の形態	ショーケースの種類	
クローズドタイプ	箱形	冷蔵		冷気強制循環形	スイング	箱形ショーケース	
	四面・五面ガラス式				スイング	四面・五面ガラス式ショーケース	
	リーチイン (冷凍機下置き)				スイング	リーチインショーケース 冷凍機下置き 冷蔵 スイング扉	
					スライド	リーチインショーケース 冷凍機下置き 冷蔵 スライド扉	
	ガラス トップ式	冷蔵			冷気強制循環形	スイング	リーチインショーケース 冷凍機下置き 冷蔵 スイング扉
						冷気自然対流形	スライド
		冷気強制循環形			ガラストップ式 ショーケース 冷気強制循環形		
					オープンタイプ	多段形 (天井吹出形) (薄形)	冷蔵
高温	多段形ショーケース 天井吹出形 薄形 冷蔵高温						
低温	平形ショーケース 片面 冷蔵低温						
中温	平形ショーケース 片面 冷蔵中温						
平形 (片面)	冷凍	低温	平形ショーケース 片面 冷凍低温				
		中温	平形ショーケース 片面 冷凍中温				

#### 4. 勧告及び命令の対象外事業者について

法第79条第1項の規定に基づき、特定機器の製造事業者等に係る生産量又は輸入量の要件については、他のトップランナー対象機器では生産・輸入シェア概ね0.1%未満を目安として運用されているところ。

そのため、ショーケースにおいても同様に、生産・輸入シェアが0.1%未満の製造事業者等を特定機器の性能の向上に関する勧告及び命令の対象外とする。